

谷地ひなまつり

河北町谷地のひなまつりは、目覚めの四月二日三日に地区をあけて行われ、北口通りに「ひな市」が立つ。この谷地は、もののひなまつり発祥の地といわれている。



山形雛

当地に雛人形が多いのは、紅染めを見たいという郷人の願いに、紅花商人が応えたからと思われる。当時紅染めを見せたいは、紅の袴を着た雛を買ってくる以外に方法がなかったのもある。

また、日本豪華で巨大な雛が並ぶ。布の染方や織方、衣装の仕立の技法が向上してくると、小さな雛では表現できない衣装の全貌を明らかにし、財力と格式を誇示するために有力商人は、幾つと豪華な雛を購入したと考えられている。

享保六年には八寸以下に制



関東人形

限されたが、なかなか守られず、小さければいいのかと、頭と手が鼻と口、超高価な芥子雛が造られた。

谷地は多彩な雛がある。初代雛屋次郎左衛門作の置上げ立雛を始め、兒茶雛、立雛、数々の享保雛、古今雛、次郎左衛門座雛、有職雛、雄児雛、親王雛、芥子雛、さまざまな飾り人形、からくり人形、竹田人形、御所

人形、雛道具なども数え切れない。谷地では、内裏雛を京船風に飾っている。天子・南面して、東方が上位であるから、向って右に男雛を飾る。京都から直移入した誇りを胸に、京風にだわって飾るのもある。



享保雛

日本遺産 認定

谷地ひなまつり

珠玉の時代雛特別公開

段飾り・㊤大木平蔵作

山形県 河北町

交通のご案内

ACCESS INFORMATION

山形	河北町
山形新幹線	タクシー15分
30分	公営バス20分
左沢駅	タクシー15分
25分	バス20分
山形空港	タクシー10分
山形自動車道	20分
寒河江I.C	7分
東北中央自動車道	
東根I.C	



日本の道百選「ひな市通り」

糖とべに花の里・かほく

河北町役場商工観光課 ☎0237(73)5162
(一社)河北町観光協会 ☎0237(72)3787

やちひなまつり 検索

県内屈指の逸品揃い、時代雛特別公開

紅花資料館 1月12日(土)～4月10日(水)



紅花資料館及び收藏資料 (旧堀米家)

江戸時代、紅花商人(露園)として活躍した堀米家の隠居、長門屋を構え、堀と堀を掛けて敷地を囲んであります。座敷裏、御朱印蔵、母屋、武蔵蔵、雛人形、紅花染め衣装などが残っています。敷地内には紅花畑もあり、7月上旬に咲き誇ります。

■開館時間 (開館時間) 3月～10月 9:00～17:00 11月～2月 9:00～16:00

■休館日 年末年始・第2木曜日

■入館料 一般 高校生 原簿生 年間入館券

個人入館券	400円	150円	70円	42,000円
団体入館券	350円	120円	50円	11,000円

※団体入館券5名まで、団体入館券2名まで

お問い合わせ、ご予約は河北町紅花資料館 ☎0237(73)3500まで

人形のまち 制作実演と制作体験

◆人形制作実演

- 4月2日(火)・3日(水) 午前11時～正午 午後1時～3時 ●北口公民館 (岩城人形協同組合人形売場内)

◆木目込人形制作体験

かわい人形の制作体験ができます。

- 4月2日(火)・3日(水) 午前9時30分～午後3時30分 ●河北町コミュニティセンター3Fホール

※体験は事前申込が必要です。 (一社)河北町観光協会 お問い合わせ ☎0237-72-3787まで

日本遺産認定



①次郎左衛門喜上げ立雛 (鈴木英友家)
紅花で染めた商家が上から高い
多く集まっています。本品は京都の人形
師初代藤屋次郎左衛門の作で、丸顔、
引き目、かぎ髭、朱色の口が特徴です。



③御所人形(細谷昌平家)
当地に伝わる華やかな雛人形の一つ
です。本品は幼児をかたどった胡粉仕
上げの人形で紅花染めの衣巻をまと
い、三郎身のおどけのない顔つきの中に
気品が漂います。



⑦享保内裏雛(紅花資料館)
当地に伝わる華やかな雛人形の一つ
です。本品は、慶應から、らんと大入りで、
胡粉の胡粉仕や顔目の細やかなりが家に
見事。す。紅花で染めた商家と上方と
の結び付を示す資料としても、高い
価値があります。



⑨からくり人形(竹谷義一郎)
当地に伝わる華やかな雛人形の一つ
です。ぜんまいの取り手を回すと台上
の人形が舞や楽奏の仕度を始めます。
本品は糸人のかみ太鼓を打ち鳴らし回
転する仕掛けです。

最上紅花と呼ばれた
当時の紅花は米の百
倍金の十倍といわれ
るほど高価で、この紅花
交易により町もたさ
れた華麗な雛人形は、
旧暦のひなまつりであ
る四月二日・三日に旧商
家の方々の自宅や蔵に
展示され、各地ひなま
つりとして一般公開され
ている。

その中には平成二十
年五月二十四日に日本
遺産に認定されたもの
も展示されている。
かつての紅花貿易が
もたらした上方文化に
触れることで、今でもそ
の豪華さと現存する数
の多さにより、各地ひ
なまつりを訪れる人々
を魅了し続けている。

ひな供養

- ◆神事 4月2日・3日 午後2時
- ◆受付 午前10時〜午後1時30分
- ◆初穂料 三〇〇〇円から

雛の節句は、その昔から厄除の
ことわざもあり、こごたまつりといわ
れ、今日でも地方によっては、日常
生活での罪やけがれを素朴なひ
な形代に託し、川に流す風習な
どが残っています。各地ひなまつり
では、秋葉神社境内の「ひな塚」の
前、古い雛や形代に御料理を供
え、私たちの健康と幸福を願う
「ひな供養」の神事が行われます。



時代雛公開

午前9時〜午後4時
一周年後の時まで

- ①鈴木英友家(4月2日・3日) …… 大人400円
 - ②鈴木昌之家(4月2日・3日)
 - ③細谷昌平家(4月2日・3日)
 - ④國井高一家(4月2日・3日)
 - ⑤竹谷義一郎(4月2日・3日)
 - ⑥細谷次朗郎(4月2日・3日)
- 各々 大人300円

近隣諸地区の子どもたち所を贈与できる贈答券… 500円
※第1次来賓は、現地にて1000円の贈答券を配布いたします。
小・中学生は一律1000円

現代雛となりまり写真撮影会

会場 ⑥細谷次朗郎(4月2日・3日)

十二重等の衣装を着ての
「コトシエニツク」スポン
※ご自身のカメラ等を持って参観ください。

※ご希望の方は、祭りスタッフが案内します。申し込みは各案内所へどうぞ。

